

りのきっずセカンド支援プログラム

| | | |
|-----------------|--------------------|---|
| 健康・生活 | ・ 基本的生活のスキル | 生活上に向け、身だしなみや食事マナー、トイレトレーニング等の支援を行います。 |
| | ・ 健康状態の把握 | 関係機関やご家族との連携や、検温、意思表示が困難なお子さまに対しては、小さなサインから心身の変化に気付けるよう支援していきます。 |
| | ・ 生活リズムの確立 | 日中活動を充実し、心身共に健康に生活をするとともに、ご家族のご協力も得ながら規則正しい生活を促します。 |
| | ・ 環境への配慮 | 子ども達に分かりやすいように文字、時間、絵での支援をしています。 |
| 運動・感覚 | ・ 姿勢保持 | 食事、個別療育時にはしっかりと座ることを声かけし支援しています。 楽しくバランスボール等で体幹強化出来るよう支援しています。 机、椅子の高さ調整を行い、姿勢保持がしっかりと出来るよう配慮しています。 |
| | ・ 保有する感覚の活用 | サーキット、リトミック、ダンス等で、視覚、聴覚、触覚の感覚を十分に活用出来るようプログラムに取り入れ支援していきます。 制作で切る、貼る、折り紙等、手先を使った細かい作業を、楽しく行えるよう支援していきます。 |
| 認知・行動 | ・ 認知過程の発達 | 情報をしっかりと聞く、行動につなげる、を利用時に支援出来るようにサポートします。 (絵、ジェスチャー、マカトン、音等、特性を踏まえ、情報を適切に理解出来るよう支援しています。) |
| | ・ 数、色、物等の習得 | 色合わせ、カードとり、マッチング、ブロック等、個別プログラム、集団プログラム、に取り入れ習得を支援していきます。 将来を見据えた、時計やお金等への認識を深めていけるよう、プログラムや日常の中で取り入れ支援していきます。 |
| | ・ 行動障害への予防 | コミュニケーションの困難や、特性を踏まえ、行動障害の予防や、適切な行動への対応の支援を行っていきます。 (特性を踏まえ、先に適切な行動がとれるよう、スケジュールを伝えたり、終わりを決める等の個人に合わせた支援を行っていきます。) |
| 言語 コミュニケーション | ・ 言葉の習得 | 絵や文字を組み合わせて、日常で使う言葉の習得を支援します。 |
| | ・ 意思の表出 | 日常で使う話し言葉を中心に、場面での使い方をその都度、職員と一緒に繰り返し言葉にする事により、自分の意思表示を自発的に表出出来るよう支援していきます。 |
| | ・ 非言語 コミュニケーション | ジェスチャー・表情・マカトン等で、言葉以外のコミュニケーション方法を学べるよう支援していきます。 |
| | ・ 読み書きの向上 | 個別に本を読んだり、自分の名前やひらがな等を習得する支援していきます。 学校からの宿題のサポートをしていきます。 |
| 人間関係 社会性 | ・ 信頼関係の形成 | 職員との信頼関係を築き、周囲の人との安定した関係を保てるよう支援していきます。 |
| | ・ 模倣行動への支援 | 体操、手遊び等を等、人の行動を模倣することにより、社会性や、対人関係への芽生えをしえんしていきます。 |
| | ・ 社会性の発達 | 感覚機能を使った遊びから、おままごと等を使ったごっこ遊びへの移行により、社会性の発達を支援していきます。 一緒にプログラムへ参加する、歩幅を併せる、ルールのある遊びをすることで、社会性の発達を支援していきます。 |
| | ・ 自己理解 | 自分のできる事、出来ないことを理解するとともに、出来ないことや、困り事への自発的な発信が出来るよう支援していきます。 |